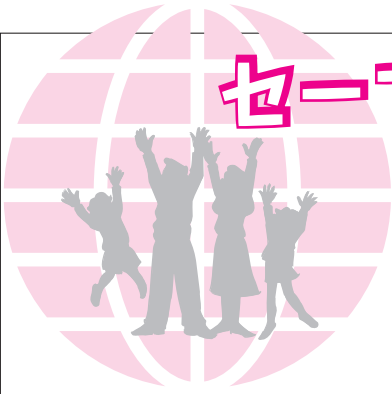


セーフコミュニティいずみおおつ



本市では、国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指して、今年6月に活動開始を宣言しました。ここでは、セーフコミュニティについて皆さんの理解を深めていただくための情報をお届けします。

Vol.1 「セーフコミュニティとは？」

本市では、国際認証制度であるセーフコミュニティ認証の取得を目指して、今年6月に活動開始を宣言しました。

セーフコミュニティでは、より安全で安心に暮らすことのできるまちの実現のために、みんなが一緒になって安全の向上に取り組むことが求められます。そこで、セーフコミュニティについて皆さんの理解を深めていただくため、今後定期的に連載していきたいと思えます。

第1回は「セーフコミュニティとは？」です。直訳すると「安全な地域社会」となりますが、皆さんが思う「安

全」とはなんでしょう。

犯罪、暴力、火事、事故、災害などといった不安な要素がなくなることをイメージする人もいないのではないのでしょうか。しかし、安全を脅かす原因を完全に排除することは至難の業です。

セーフコミュニティでの「安全」とは、日常生活のなかで健康を阻害する要因を把握し、事故やけがを予防することで、危険や危害がコントロール(管理)されている状態をいいます。

そのためには、日常生活における安全をあらゆる視点で検証し、重点課題を抽出して取り組

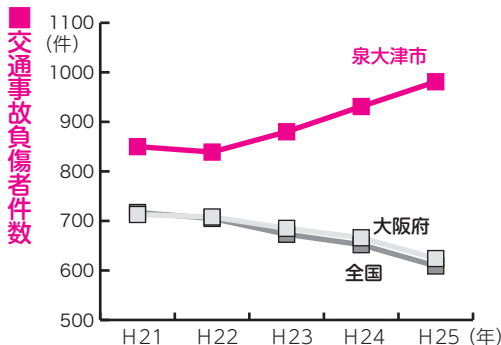
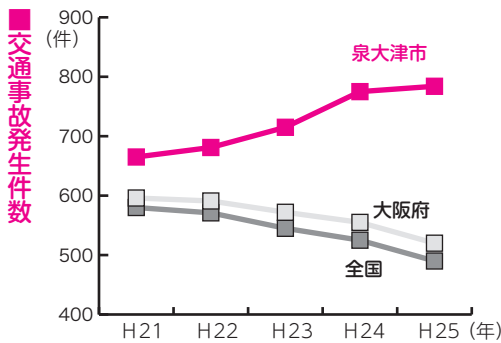
むことが必要となり、現在は、警察・消防・保健所などの行政機関が持つ統計データを収集・分析し、本市の状況を診断しているところです。

図では、人口10万人あたりの交通事故発生件数・負傷者数の過去5年間の動向を示しています。これを見ると、本市では件数・人数ともにすべての年で全国や大阪府を上回っており、増加傾向となっています。このデータから「本市では、交通事故の原因を分析して、さらに効果的な対策を優先的に施さないといけないのではないか」ということが分かります。

今回は、交通事故の例を挙げましたが、その他にも犯罪、災害、事故など安心安全をめぐる課題は多岐多様となっています。さまざまな課題に関する客観的なデータによって事故やけがの原因を明らかにし、市民や地域団体の皆さん、行政などが一体となって安全の向上に取り組むことがセーフコミュニティの姿といえます。

問合 危機管理課(市役所4階)

(図) 人口10万あたりの交通事故発生件数



※政府統計、警察統計を基に泉大津市作成

「セーフコミュニティ」アンケートを実施します

セーフコミュニティ活動では、健やかな生活を阻害する危険や危害をどのように防ぐかがポイントとなります。

現在、警察や消防などの行政機関にある統計データから本市の安全・安心に関する状況把握を進めています。加え

て、これらのデータには現れないような通院に至らなかったけが、ヒヤリとした事例、また日々の生活で感じる不安など、皆さんの日常生活での経験や安全・安心に関する意識の調査を行い、今後のセーフコミュニティ活動に活用するためにアンケートを実施します。

アンケートは、市内の無作為に抽出した2,000世帯のご家族(18歳以上)の人が対象です。アンケートが届いた皆さんは、ご協力をお願いします。

問合 危機管理課(市役所4階)